SENJIYA

来日25周年記念コンサート

蒼響

〜馬頭琴の新しい挑戦〜

2025年11月1日(土)

会場：銀座ヤマハホール　開場：13:00　開演：14:00

セーンジャー

馬頭琴奏者

PROFILE

東京富士大学准教授、2000年来日。2005年大東文化大学大学院卒業。
2010年テレビ朝日『徹子の部屋』に出演。
代表的な演奏曲は日本/モンゴル合作映画「蒼き狼地果て海尽きるまで」において、
馬頭琴演者で劇中曲を担当、NHK『ほっと・アジア』エンディングテーマ、
フジテレビ『踊る大捜査線 THE LAST TV』に出演、TVアニメ「アンゴルモア元寇合戦記」の劇伴にて演奏。
2020年全国小学校向け国語のデジタル教科にて馬頭琴を演奏。
馬頭琴奏者として日本・モンゴル・中国においては、
馬頭琴やモンゴル文化の認知度向上・普及活動の為、教育機関を中心に講演及び馬頭琴の演奏活動も行っている。
さらに東京音楽大学と柿の木坂芸術学校の講師を務めるなど、
後進の指導にも力を注いでいる。毎週水曜日に箱根ガラスの森美術館でレギュラー出演中。
SENJIYA馬頭琴研究会主宰。国際馬頭琴推進協議会会長。

早稲田　桜子

ヴァイオリン 奏者

PROFILE

東京藝術大学音楽学部卒業。
4歳よりヴァイオリンを始め12歳より国内外で様々な演奏活動を行う。
大学在学中度々渡仏しフランス音楽を学び、卒業後はジャンルを超えた音楽を求め米国バークリー音楽院に留学。
ポップス、ジャズ、和楽器、ダンス、映像等、他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多数。
（一財）地域創造・公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。
昭和音楽大学講師。

渕上 ラファエル広志

尺八 奏者

PROFILE

東京音楽大学講師・尺八奏者
ブラジル出身。東京音楽大学にて講師として「世界音楽概論」「世界音楽特講」を担当し、同大学の尺八サークル顧問も務め、教育活動に尽力している。加えて、付属民族音楽研究所では特任研究員として、研究活動のほか、多様な講座の企画・運営にも携わっている。
演奏家としては、日本音楽集団、Japan Shakuhachi Professional-players Network（JSPN)、ココペリ楽団、アンサンブル紫音などに所属し、日本の伝統音楽に根ざしつつ、和洋楽器とのコラボレーションやブラジル音楽の演奏にも積極的に取り組んでいる。
来日前は、カンピーナス州立大学でフルートを専攻した後、尺八へと転向。同大学大学院にて修士号を取得。2013年にはSão Paulo Research Foundation（FAPESP）の奨学金を受けて日本に半年間留学し、柿堺香氏、菅原久仁義氏に尺八を師事。2015年には日本財団より5年間の奨学金を得て再来日。2019年には国際尺八研修館にて師範免許を取得。2020年には東京音楽大学大学院博士後期課程を修了し、尺八の研究で博士号を取得。2021年には天吹同好会に入会し、白尾國英氏に天吹を師事。研究テーマは、世界音楽、民族音楽、尺八、天吹、日本移民、日系社会など。

虫明　知彦

ピアノ 奏者

PROFILE

東京学芸大学卒業、同大学大学院音楽コース修了。東京音楽大学大学院伴奏科修了。
現在、東京音楽大学大学院博士後期課程に在籍。
これまでにピアノを石川陽子、庄野啓子、野澤啓子、石橋史生、藤原亜美、播本枝未子、岡田敦子、大竹紀子、伴奏法を土田英介、水谷真理子、山洞智、御邊典一、音楽学を藤田茂の各氏に師事。
2017年度東京音楽大学甲種奨学生。ACJ第５回日本ピアノ歌曲伴奏コンクール第２位。2017年にニース（フランス）夏期国際音楽アカデミーに参加、伴奏ディプロマを取得、選抜コンサートに出演。
現在は博士課程にてC.ドビュッシーの歌曲についての研究を行う他、声楽の共演ピアニストとして活動、また後進の育成にも努めている。
東洋大学文学部教務課授業補佐、ピアノ指導員。
日本フォーレ協会会員。日本セヴラック協会会員。東京二期会フランス歌曲研究会ピアノ会員。愛知日本歌曲研究会会員。